

鹿骨授業スタンダード推進指導案（保健体育科）

1. 指導者 佐藤 精一
 2. 会場 3年1組教室
 3. 指導学級 3年1組（計31名）
 4. 単元名 健康と環境

5. 単元の重点とする目標

- ・健康と環境について、理解することができる。
- ・健康と環境に関わる課題を発見し、解決方法を考え、適切な方法を選択し伝え合うことができる。
- ・学習に主体的に取り組むことができる。

6. 単元指導評価計画（7時間扱い）

知知識・技能 思思考・判断・表現 主主体的に学習に取り組む態度

時	学習目標	学習活動	評価規準との関連			評価規準(評価方法)	具体的な生徒の姿
			知	思	主		
1	適応能力を理解し、適応能力を超えた環境は健康に影響することを理解しよう。	気温の変化に対する適応能力とその限界についてノートにまとめている。	○		○	①身体には一定の範囲内で環境の変化に適応する能力があることについて、理解し、まとめている。(ノート) ②健康と環境について、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。(観察)	適応能力について考え、理解を深めている。
2	快適で能率の良い環境とはどんな環境かを理解しよう。	温熱条件や明るさの至適範囲についてノートにまとめている。	○			①温熱条件や明るさには人間が活動しやすい至適範囲があることについて、理解したことを発言したり、まとめたりしている。(ノート)	温熱条件や明るさの至適範囲について、自分の生活と結び付け理解している。
3	熱中症の発生要因と予防策を理解し、自分に合った対策方法を考えよう。	熱中症の予防等について、健康課題を選択し、解決策を考える。		○		③熱中症の習得した知識に基づいて生活と関連付けて、課題を発見し解決策を考えている。(観察、ノート)	熱中症の予防等について、自他の生活と関連付け、課題発見・解決に向けて他者と協働して考えている
4	飲料水と健康の関係、および飲料水の衛生的管理について理解しよう。	飲料水の衛生管理についてノートにまとめている。	○			④飲料水は、科学的な方法によって検査し、管理されていることについて理解したことを発言したりノートに書いたりしている(ノート、観察)	水と健康の関係について実生活を振り返りながら理解している。
5	空気と健康の関係、空気の衛生的管理について理解しよう。	空気の衛生的管理について理解する	○			④二酸化炭素の衛生的管理や一酸化炭素の有害性について理解したことを発言したり、ノートにまとめたりしている。(観察、ノート)	空気と健康の関係について生活を振り返りながら生かそうとしている。
6	生活によって生じた廃棄物の衛生的管理について理解しよう。	生活に伴う廃棄物の衛生的管理について理解する	○			④生活に伴う廃棄物はその種類に即して衛生的に処理されなければならないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。(観察、ノート)	生活に伴う廃棄物の衛生的管理について、実生活と関連付けて理解している。
本時	環境問題について、健康課題を発見し、解決策を考えよう。	これまで学習した内容を踏まえ、環境問題についての学習に主体的に取り組む。			○	⑤習得した知識を生活と関連付け、課題の発見・解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。(観察、ワークシート)	環境問題と健康課題について、他者と協働して解決を図ろうとしている。